

### 住みたい街 住み続けたい街へ 市の事業紹介

市では、「住みたい、住み続けたい街えびな」の実現を目指し、各種施策・事業を展開しています。子育て環境の充実、生涯学習の推進など、多様な世代のニーズに対応するまちづくりを進めています。

#### 小児医療助成の対象を拡大 小6まで全額助成

子育てにかかる保護者の負担軽減・小児の福祉増進を図るため、健康保険等に加入している0歳から中学校卒業までの子どもを対象に、保険医療費を助成しています。平成20年7月からは、通院・入院にかかる保険医療費自己負担分の全額助成の対象を、小学6年生までに拡大しました(所得制限なし)。中学生については入院のみの助成となります(所得制限あり)。

☎ 児童福祉課 (235・4823)。

#### ひびきあう教育を目指して

人と人のかかわりの教育「ひびきあう教育」を推進しています。今年度は夏休み中の子どもの居場所づくりを目的として「えびなっ子サマースクール」を実施。学校・地域・保護者などの協力の下、参加した児童・生徒は地域社会とのかかわりを深めました。

☎ 学校教育課 (235・4918)。

#### 高齢者の生きがい作りへ

高齢者の社会参加、健康づくりを目的に「高齢者生きがい教室」を実施しており、デジカメ・ヨガ・手芸などの教室を開設しています。また、2月14日回には、本年度選考を迎える方を対象に、初めての試みとして「チャレンジ!!セカンドステージ〜海老名市選考式〜」を実施します。

☎ 高齢介護課 (235・4950)。

#### 安全・安心なまちづくりへ

都市化の進展により災害・犯罪が多様化する中、安全・安心に暮らせるまちづくりへ向け、さまざまな取り組みを行っています。

防災面では、最新の装備を持つ消防車両を導入するなど、消防力の強化を進めています。また、北部地区の防災拠点として、今年3月に北分署が移転・開署を予定。

防犯面では、東柏ヶ谷近隣公園、国分寺台商店街など計5カ所に防犯緊急通報装置を設置します。事件・事故などが発生した際に、早期の通報が可能になります。

☎ 防災について=消防総務課 (231・5153)、防犯について=市民安全課 (235・4789)。



# ホット ほっと 海老名の魅力を紹介します

神奈川県のおぼ中央に位置する海老名。駅や道路など交通網を中心に開発が進む「ホット」な街でありながら、自然が多く残る「ほっと」できる街でもあります。今回は都市と自然・緑地・農地がバランス良く共存する街「海老名」の魅力を紹介します。

## 歴史と文化の街



歴史と文化の街「海老名」。奈良時代には、相模国分寺や尼寺が建立されるなど、相模国の経済・文化の中心地として栄えていたと言われていました。

現在では、国分寺の跡地が歴史公園として整備されているほか、海老名中央公園には、国分寺のシンボル「七重の塔」のモニュメントが設置されています。

このほか、秋葉山古墳群、海老名の大ケヤキ・有馬のハルニレ、龍峰寺の千手観音立像など歴史と文化に満ちた遺産が数多く残っています。



▲国分寺跡で実際に出土した瓦を持つ、海老名中学校2年生の皆さん

## 海老名の 景観



▲大谷近隣公園付近からの眺め

海老名市は、丹沢大山・富士山の眺望、相模川の流れ、九里の土手など、良好な景観を有しています。大谷近隣公園東側の展望広場からは、丹沢大山や富士山の山並みを楽しむことができ、近隣の住民などの憩いの場として親しまれています。



▲大谷北在住の作山さん

## 市の玄関 海老名駅



▲「家族そろっての買い物」と話す、国分寺北在住の鈴木さん



小田急線・相鉄線・JR線の3線が乗り入れる海老名駅。都心まで約45分、横浜まで約30分と、アクセスに優れた一日平均乗降客数が約26万人という県央における主要駅の一つです。駅周辺では、開発が進んでおり、駅東口に広がる大型商業施設「ヒナオーク」は、多くの買い物客でにぎわっています。駅自由通路の整備のほか、今後も、駅西側では民間開発、JR西口地区では土地区画整理事業が予定されており、市の玄関口として、さらなる発展が期待されています。

## 2月27日 海老名インターチェンジ開通



▲中日本高速道路㈱の折野さん。「県内初となる圏央道の開通はまもなくです」

建設が進む圏央道。このうち海老名インターチェンジが2月27日に開通します。これまで高速道路を利用するには、相模川を渡り、厚木インターチェンジまで行く必要がありました。海老名インターチェンジ開通後は、所要時間が短縮されます。また、企業立地の促進も期待できます。

## 海老名の「農」



海老名市は海老名駅前を中心に都市化が進む一方、その周辺や南部地域には田園風景が広がっており、それが市の大きな魅力になっています。温暖な気候に恵まれ、稲作・野菜・果物・花きなどの栽培が盛んに行われています。中でも、イチゴは県内生産量第一位、市南部の市道8号線沿いは、イチゴ温室・ハウスや直売所が多く、通称「いちごロード」と呼ばれています。



▲有馬小学校の1、2年生。「海老名の野菜、おいしいよ!」

## ほっと一息 海老名サービスエリア

日本有数の交通量を誇る東名高速道路に設置されている県内唯一のサービスエリア。豊富なメニューと品揃えで、週末には行列ができるほど、多くの利用者でにぎわっています。今後は「地域に開かれたサービスエリア」を目指し、地元住民の施設利用なども検討されています。



▲コンシェルジュの松崎さん。「ここでしか売っていないメニューもたくさんあるので、ぜひお立ち寄りください」

## あなたの目線の海老名の魅力

写真・動画・口コミ情報などをお寄せください。市では、「あなたの目線の海老名の魅力」をテーマに、皆さんの周りにある、さまざまな情報を募集しています。内容は「海老名のこころ」です。



▲上郷在住の山崎晴久さん撮影「シダレザクラ」

送で政策事業推進課(235・4635)へ。